

### 一、復活は本当だったのか？

聖書には、イエスが十字架刑で死なれた後、三日目に復活したと書かれています。そこで、「一緒に考えてみたいことがあります。復活は本当だったのでしょうか、イエスは本当によみがえられたのでしょうか。こればかりは、二千年前のことですし、私たちは聖書に書かれている証言を信じるしかありません。

では、聖書に書かれている復活をそのまま信じていることができたなら、それでは十分なのでしょうか。すなわち、聖書に書かれている復活の証言には誤りがないとして、そのまま信じているのです。そして、復活の出来事を矛盾がないように組み立てて行くのです。それは、非常にむずかしい作業です。福音書によって、証言の内容が異なるからです。ですが、たとい組み立てることができたとしても、あまり意味のないことであると思われまます。マタイにはマタイなりのメッセージがあり、ルカにはルカなりのメッセージがあり、ヨハネにはヨハネなりのメッセージがあるからです。そして、四つの福音書の中で一番始めに発行されたと考えられますマルコの福音書は、天使と思われる青年が語った

「あの方はよみがえられました」という言葉に続いて、墓に行った女たちが仰天して逃げ去った、という記述で終わっています。

話は元に戻りまして、イエスが死んだ後によみがえられたと、文字通りに信じたとします。それだけで十分なのでしょうか。否、不十分です。なぜなら、復活の主イエスとの出会いが必要だからです。この、出会いこそは、神の恵みであり、人知を超える出来事です。なぜならそこに、人間の思いを超える神の不思議を見るからです。

### 二、主との出会いは喜び

聖書を見てまいります。マタイの福音書28章1節です。へさて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方、マグダラのマリヤと、ほかのマリヤが墓を見に来た。とあります。マタイが底本にしたと考えられますマルコの福音書には次のように書かれています。へマルコ16・1〜2さて、安息日が終わったので、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとは、イエスに油を塗りに行くかと思ひ、香料を買った。そして、週の初めの日の早朝、日が上ったとき、墓に着いた。と。マルコでは3人ですが、マタイでは2人になっています。サロメが落ちています。サロメはイエスの母マリヤの姉妹と思われる女性です。マタイは、なぜサロメを除いたのでし

ようか。福音書記者たちは新聞記者のように、事実をなるべく正確に語ろうとしたのではなかったようです。事実の正確さよりも、聖霊に迫られて語りたいたいメッセージがあったようです。そういう意味でも、聖書から復活後の出来事を矛盾なくまとめるのはむずかしいですし、あまり意味のないことであると思われまます。

さて、女たちがイエスの納められた墓に到着しますと、マタイによれば大きな地震が起こりました。主の使いが天から降りて来て、墓をふさいでいた大きな石をわきに転がしてその上に座ったからです。御使いは女たちに言いました。5節、6節です。へすると、御使いは女たちに言った。「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てごらんさい。と。そして、ルカとヨハネによれば、女たちは墓に入つて主の御体がなくなっていることを見ました。女たちは墓を出て、弟子たちに知らせるために走って行きました。すると、その途中でイエスが彼女たちに出会ったということです。9節です。へすると、イエスが彼女たちに出会って、「おはよう」と言われた。彼女たちは近寄って御足を抱いてイエスを拝んだ。とあ

ります。ここで、マリヤたちは復活のイエスに「出会って」います。注目したいのは、彼女たちが出会った際に、イエスが「おはよう」と言われたことです。口語訳では「平安あれ」、新共同訳は新改訳と同じく「おはよう」です。イエスの挨拶の言葉がふだんと異なります。多くの場合、イエスは「平和(平安)」があるように」という、ユダヤ人が交わした挨拶の言葉を用いられました。ここでイエスが「おはよう」とおっしゃった言葉は「喜びなさい」という意味の、挨拶の言葉でした。英語の聖書に「Rejoice」と訳してあるものがあります(NKJV)。主イエスとの出会いとは、私たちに喜びをもたらすものであると教えられます。主イエスは山上の説教の中でおっしゃいました。へマタイ5・12喜びなさい。喜びおどきなさい。天ではあなたがたの報いは大きいから。と。

父・子・聖霊なる神は、私たちが主イエスと出会うことによって喜びに満たされることを望んでおられると知りまます。

きょうは復活祭(イースター)、イエス・キリストがよみがえられた日です。マグダラのマリヤと、ヤコブの母のマリヤが復活の主イエスに出会って喜びに満たされた日です。イエス・キリストとの出会いは、神がくださる喜びをもたらします。